

PROJECT



環境教育・環境学習の推進

環境にやさしい生活様式や社会経済システムを実現するためには、県民一人ひとりが人間と環境との関わりについて、科学的知見に基づく理解と認識を深めることが必要となっています。

教育・学習拠点の整備

- 「人間と環境の関わりについて考え、学ぶ拠点」、「環境情報の収集・提供の拠点」となる施設のあり方などについて検討を進めます。

環境学習の充実

- 体験や環境調査を通して環境への理解と認識を深めるため、環境アドバイザーの充実や人材の育成を図るとともに、自然観察会や地域環境ジュニアパトロール^(※1)等の事業を進めます。

学校等での環境教育

- 子供の頃から環境に関する認識を高め、環境保全に対する責任と役割を果たす態度や能力を形成するため、学校における体系的な環境教育のあり方について検討します。
特に、自然の中でのふれあいや地域での実践活動など、家庭や地域社会と連携した体験に基づく環境教育をより一層推進します。

環境情報の充実と活用

- 利用者のニーズに応じた、正確で分かりやすい情報を整備します。
- インターネットを利用した環境情報システム「みどりネット^(※2)」を充実し、利用しやすい効率的な情報の提供に取り組みます。

(※1) 地域環境ジュニアパトロール：県内の小中学生が、主に夏休み期間中に、身近な環境問題などをテーマに調査研究などを行う活動。
(※2) みどりネット：環境に関する情報をパソコン通信ネットワークで常時提供しているシステムの名称。福井県が全国に先駆けて構築した独自のシステム。